



インフラ事業部門 通信・環境・産業インフラ事業本部

本部長 鐘ヶ江 倫彦

2009年11月25日

記者・アナリスト向け事業部門説明会

本日のご説明内容

1. 通信・環境・産業インフラ事業本部について

2. 当本部のビジネスの紹介

3. 本部の目指すところ

部門・本部組織図

インフラ事業部門

インフラ事業総括部

電力・社会インフラ事業本部

通信・環境・産業インフラ事業本部

[Telecommunication, Environment, & Industrial Business Div.]

産業インフラ事業部

[Industrial Infrastructure Business Dept.]

環境・省エネ事業部

[Environment Business Dept.]

電力エネルギーソリューション事業部

[Power Energy Solution Business Dept.]

通信プロジェクト部

[Telecommunication Project Dept.]

通信事業部

[Telecommunication Business Dept.]

□ 本部帰属員(基幹職)概数

180名

□ 国内外連結事業会社

25社

内 本部 100名
国内 40名
海外 40名

本日のご説明内容

1. 通信・環境・産業インフラ事業本部について

2. 当本部のビジネスの紹介

3. 本部の目指すところ

当本部のビジネス

□ 通信ビジネス

- 通信基幹インフラビジネス
- 通信事業

□ 環境・省エネ、電力エネルギーソリューションビジネス

- 再生可能エネルギー発電関連ビジネス(太陽光、風力、バイオマス)
- リサイクル & Waste Management ビジネス
- 省エネ & 低炭素社会に向けた関連ビジネス

□ 産業インフラビジネス

- 医薬品&食品機械ビジネス
- 都市ゴミ処理ビジネス

サウジ・アラムコ向け通信設備(設計/納入/据付)契約

KHURSANIYAH PROJECT

客先: サウジアラムコ
契約: 2005年9月
完工: オイルプラント2008年8月、
ガスパラント2010年3月予定
金額: 約50億円
概要: クルサニヤ地区オイル・ガス処理プラントに係る通信設備、Security System、光ケーブル外線工事、通信局舎

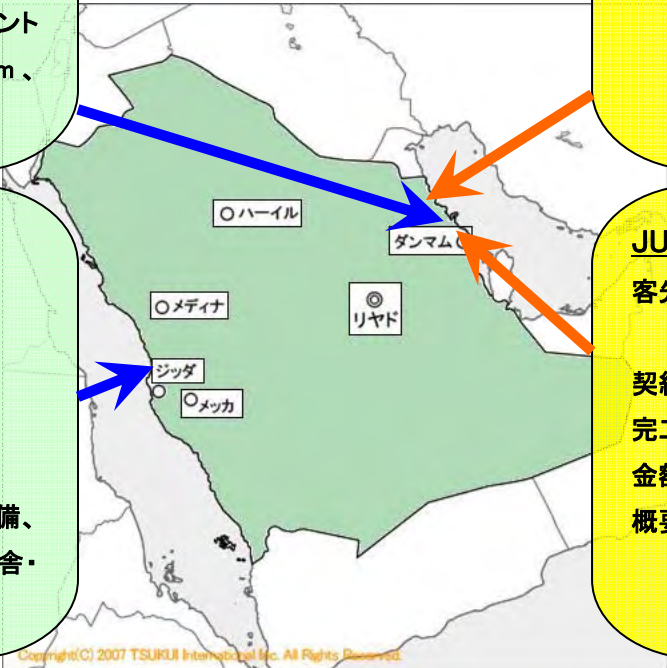


MANIFA PROJECT (新規受注)

客先: サウジアラムコ
契約: 2009年7月
完工: 2013年3月予定
金額: 約80億円
概要: マニファ地区日量90万バレルoffshore重油田開発に係る通信設備、Security System 光ケーブル外線工事、SCADA、通信ビル

KAUST PROJECT
(King Abdullah University of Science & Technology)

客先: サウジアラムコ
契約: 2007年12月
完工: 2009年9月
金額: 約150億円
概要: 国王主導工科大学建設に係る通信設備、Security System、外線工事、通信局舎・セキュリティー局舎



JUBAIL PROJECT (新規受注)

客先: SATORP
(サウジアラムコ62.5%、仏TOTAL 37.5%)
契約: 2009年7月
完工: 2013年5月予定
金額: 約30億円
概要: ジュベイル工場地区に建設する日量40万バレル輸出用Refinery Plant用通信設備、Security System

通信基幹インフラの構築 ② → 大型プロジェクトの継続的受注と
機器トレードによる収益の確保

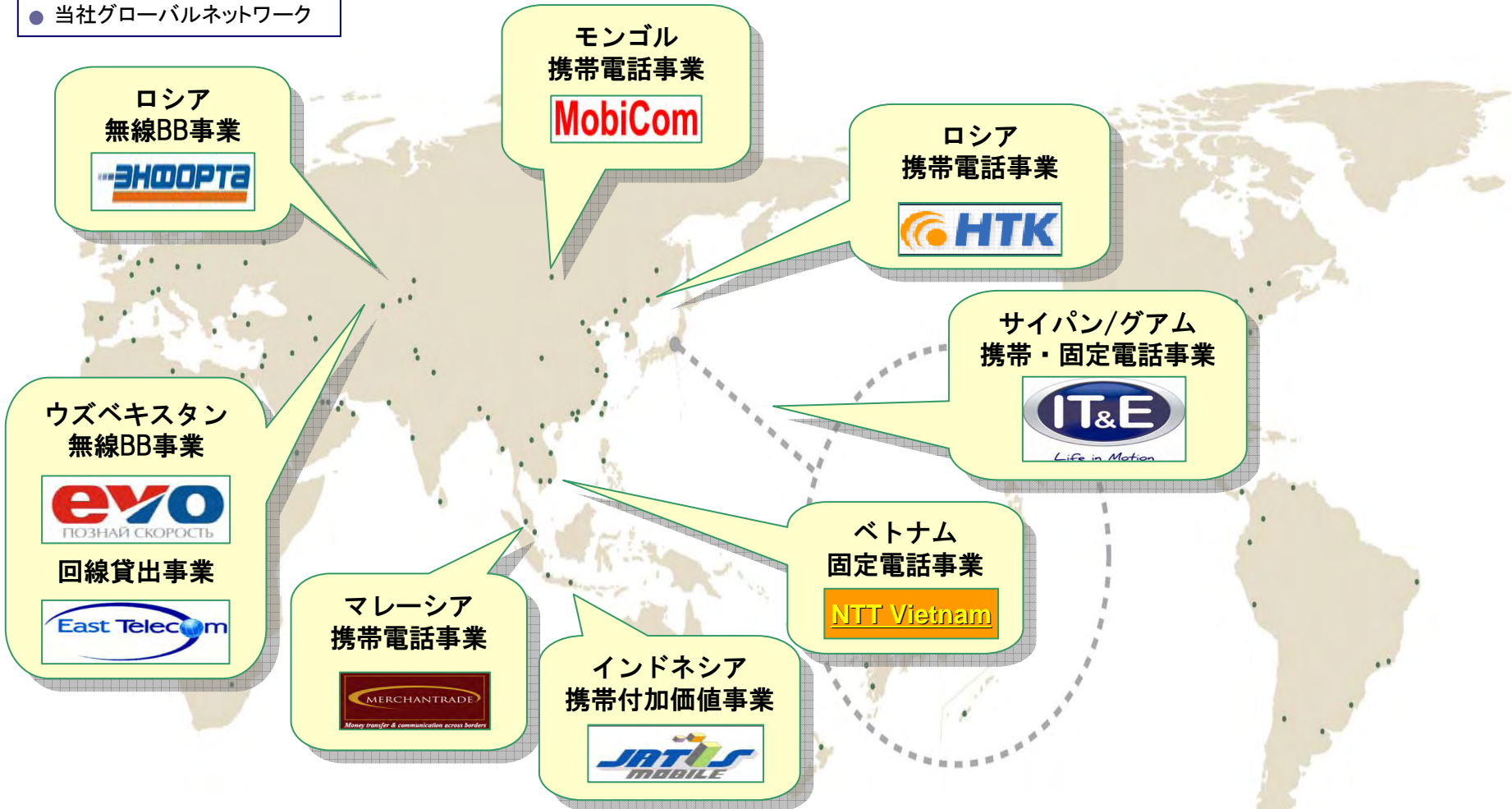
宇宙・衛星ビジネス

人工衛星の部品販売から
打ち上げを含むフルターンキー案件まで
多様な事業機会にチャレンジ



通信事業 → バリューアップと資産入れ替えによる収益基盤の強化

● 当社グローバルネットワーク



加入者数 約250万人



500万人を目指して

再生可能エネルギー 発電事業 ①(風力)

国内外の実績で培った事業ノウハウを
活かしたさらなるグローバル展開



タイプ: 風力発電事業
発電容量: 120MW
場所: アメリカ・テキサス州
運転開始: 2008年2月



タイプ: 風力発電事業
発電容量: 50MW
場所: 中国・内蒙古自治区
運転開始: 2009年9月

グロス発電容量
206MW



タイプ: 風力発電事業
発電容量: 16MW
場所: 山形県酒田市
運転開始: 2004年1月

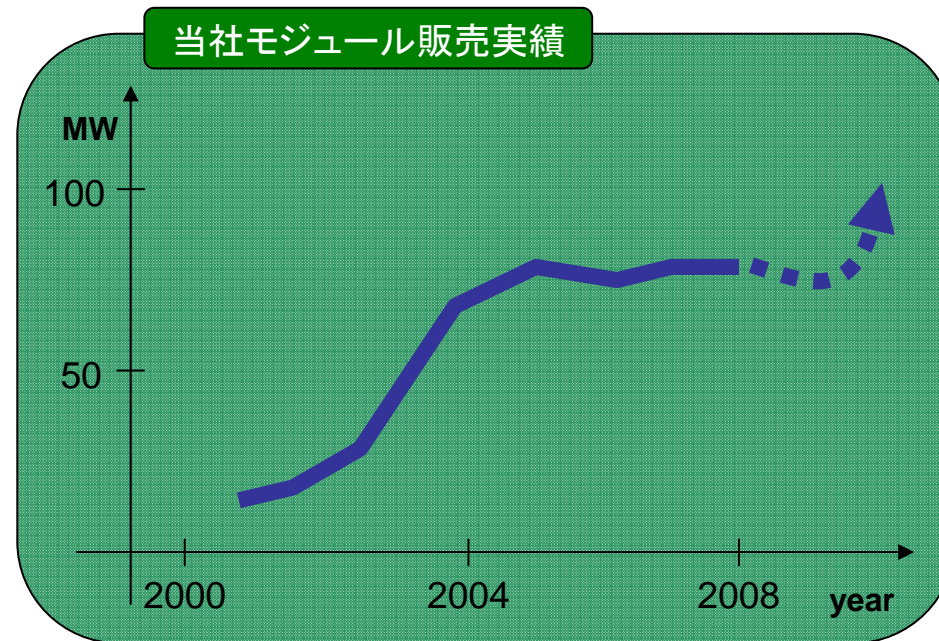


タイプ: 風力発電事業
発電容量: 20MW
場所: 茨城県鹿島市
運転開始: 2007年2月

再生可能エネルギー
発電事業 ②(太陽光)



国内外の実績で培った事業ノウハウを
活かしたさらなるグローバル展開



国内、海外の大規模太陽光発電事業の更なる展開

再生可能エネルギー
発電事業 ③(バイオマス)



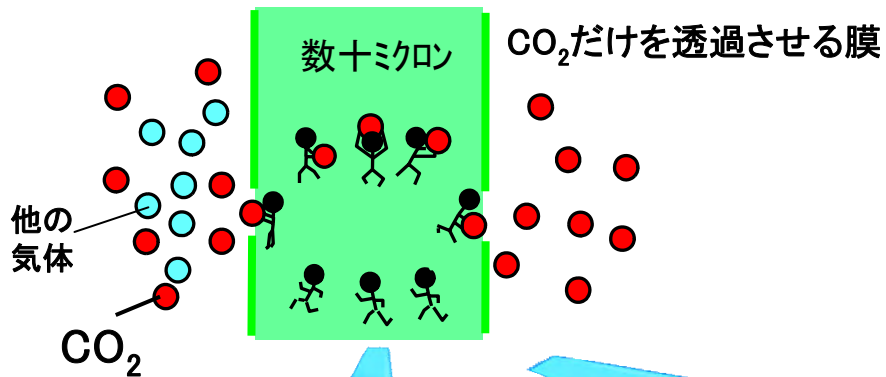
国内外の実績で培った事業ノウハウを
活かしたさらなるグローバル展開



タイプ; 木屑バイオマス発電
(石炭混焼)
発電容量; 50MW
場所; 新潟県糸魚川市
運転開始; 2005年1月

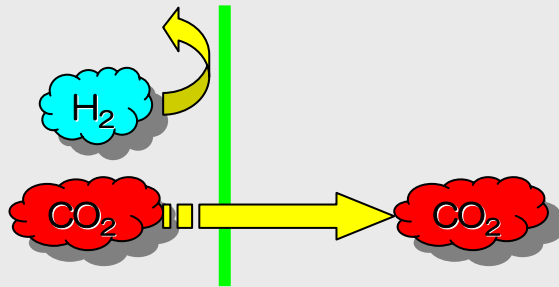
第二のサミット明星発電所の建設を目指して

CO₂選択透過膜

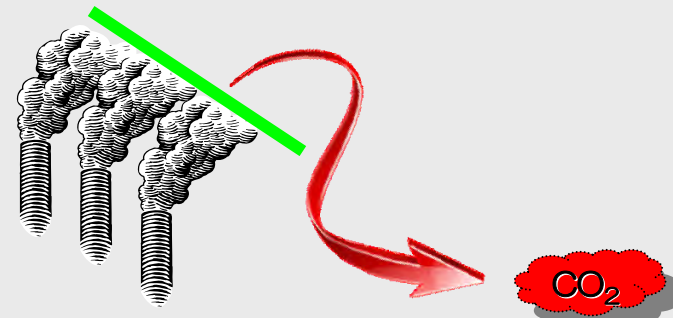


CO₂分離に大量のスチームを使う
既存の化学吸収法に比べて

- 省エネルギー
- 省設置スペース



石油精製、化学プラント (←大量の水素が必要)
水素製造工程の副産物であるCO₂を分離



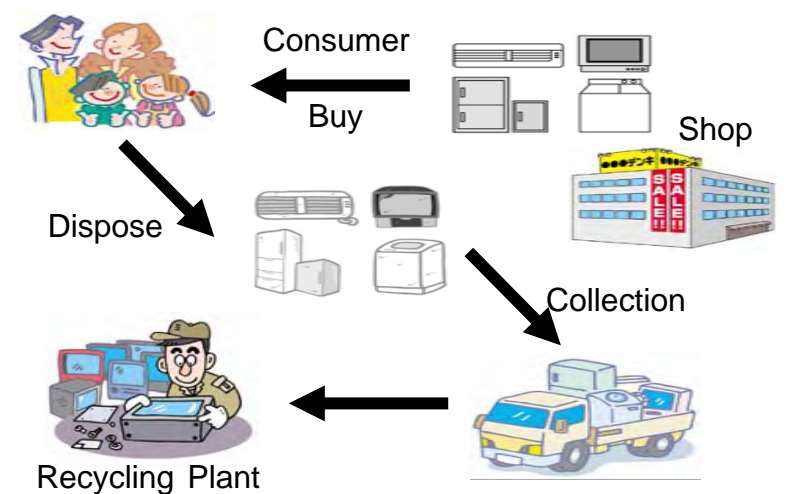
CCS (Carbon dioxide Capture and Storage)
製鉄所、発電所、セメント工場等の排ガスからのCO₂分離



飲料容器リサイクル

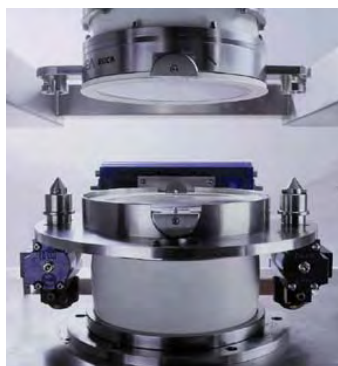


廃家電リサイクル



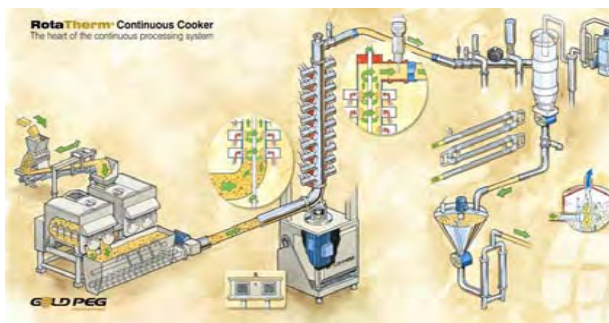
産業インフラビジネス ① → 新規商材の開発で収益基盤の強化を図る
日本国内向けビジネス

医薬品機械ビジネス 市場規模; 3,000億円



ベルギー コルトワ社 (GEAグループ)
封じ込め技術に基づく打錠機とバルブ

食品機械ビジネス 市場規模; 6,000億円



豪州 Goldpeg社
高品質食品クッカー

生活の基盤である医療・食品分野でユニークな海外新技術の導入

産業インフラビジネス ② → 日本の環境関連技術の海外展開を加速
海外向けビジネス



都市ゴミ処理プラント(ガス化溶融炉)

- ダイオキシンフリー
- 完全リサイクル化
- ゴミ分別の不要化

地域冷暖房

- 最先端の省エネ技術

日本が誇る世界最高水準の
省エネ・環境技術の世界展開

本日のご説明内容

1. 通信・環境・産業インフラ事業本部について

2. 当本部のビジネスの紹介

3. 本部の目指すところ

本部の目指すところ

本部のビジョン

インフラ事業分野にあって
多様性を武器に持続的成長を実現する集団

本部の課題

持続的成長を支える
規模感のあるコア・ビジネスの育成